



2021 年度意識啓発セミナー実施報告

「LGBTQ は『いない』のではなく『見えていない』だけ—企業、大学、渋谷区—の取組から—」

「多様な研究者と拓く岐阜の未来プロジェクト」（実施機関：岐阜大学、岐阜薬科大学、岐阜女子大学、アピ株式会社）の取組の一環として、2022年1月17日に2021年度意識啓発セミナー「LGBTQ は『いない』のではなく『見えていない』だけ—企業、大学、渋谷区—の取組から—」を岐阜大学にてオンライン開催（Zoom ウェビナー）し、オンデマンド視聴を含めて119名（延べ人数）が参加しました。

講師の永田 龍太郎 様（元 東京都渋谷区男女平等・ダイバーシティ推進担当課長）は、「見た目の性別や年齢、肌の色などに比べて、性自認や性的指向は多様性のなかでも見えにくい」と指摘したうえで、学校、病院、行政窓口、トイレや更衣室など日常生活の様々な場面でLGBTQの人々は困難に直面しやすいこと、性自認・性的指向に関連する様々な社会課題を改善するため、近年は地方自治体におけるパートナーシップ制度の導入や経団連をはじめ民間企業におけるLGBTQガイドラインの策定など各種取組が進んでいる現状について、豊富な事例紹介とともに約1時間にわたってご報告くださいました。

講演後の質疑応答の時間では、多様性を認めない職場環境に関する悩み等の質問に対して、講師が丁寧に回答くださいました。参加者アンケートの結果からは、「LGBTQに関する認識を新たにす機会となった」といった感想のほか、教職員の知識不足による教育機関の取組の遅れを指摘する内容が目立ちました。

セミナーは当日のライブ配信のほか、岐阜大学では学内限定でオンデマンド配信（10日間）を行ったことにより、学生を中心に多くの方々に視聴いただくことができました。

